

～ 岩倉生まれの戦国武将 ～ 山内一豊の生涯を追う



さくらちゃん

市制50周年記念事業の基本方針のひとつに、これまでの「いわくら」の歴史を市民とともに振り返り、市民の誇り・まちへの愛着を作り出す、というのがあるよね。今日は郷土の英雄について考えてみようよ。



※

いいね！じゃあ、例えばこれは誰か分かるかな？



のんぽりくん



い〜わくん

岩倉生まれの山内一豊公イワ！ふれ愛まつりの一豊行列で、知っている人もきっと多い〜わ。

※写真は、高知県立高知城歴史博物館提供（山内一豊画像（副））



▲ ふれ愛まつりでの一豊行列



うん。大河ドラマの「功名が辻」の題材になったこともあるけど、見たことがないと、一体どんな人なのか知らない人も多いんじゃないかな。

生まれは1545年で、父・盛豊が岩倉城主 織田伊勢守信安の重臣だったんだ。でも、一豊が15歳のときに、対立する織田信長に岩倉城を攻め落とされ、父と主君を失ってしまったんだよ。このときから新たな主君を求めて、流浪の旅が始まったんだ。



たいへんイワ！それからどうしてたイワ？

何人かの主君に仕えたのち、一豊は、かの有名な戦国の三英傑（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）に仕えたんだ。信長、秀吉の死後に仕えた家康の元では、関ヶ原の戦いでの勝利に貢献したことが評価されて土佐一国を与えられ、高知城を築城したんだよ。



そうなんだ。市内には、山内一豊誕生地や岩倉城跡などの史跡があるけど、一豊のことを知った後だと、見え方が変わってくるね。



まちの歴史を知ると、新しい発見がたくさんあるイワ〜！



▲ 神明生田神社内にある山内一豊誕生地の碑